

令和6年度 西成区教育関連事業の実施について

1. 西成区子ども生活・まなびサポート事業 **重点施策推進経費**

(令和6年度 予算額 147,859千円)

(1)事業概要

西成区内の小中学校に在学する児童生徒のうち、家庭生活面等で課題を抱えるサポートが必要な児童生徒に対し寄り添い型の支援を行うサポーター等を配置する。

不登校の状況に応じた支援を行うことで、「不登校の実質ゼロ」※を目指す。

※「不登校の実質ゼロ」とは、不登校者数を減らし、西成区の不登校者在籍率を大阪市平均に近づけるだけでなく、不登校の度合いや状況に応じたつながり先を確保し、全員が何らかの支援につながっている状態とする。

何らかの支援につながっている状態とは、次のいずれかに該当する状態を指す。

・調査時点の学期において、学校の教職員が、定期的（週に1回程度）に、不登校児童生徒本人に直接（通所・訪問・オンライン・電話などによる）学習支援や相談対応、児童生徒と一緒に活動をするなどの個に応じた支援を行うことができている状態。

・調査時点の学期において、学校とつながりのある支援機関の職員が定期的（週に1回程度）に、不登校児童生徒本人に直接（通所・訪問・オンライン・電話などによる）学習支援や相談対応、児童生徒と一緒に活動をするなど個に応じた支援を行っており、学校と定期的（月に1回程度）に情報共有ができている状態。

○支援内容

・登校支援

電話・家庭訪問などにより児童生徒の登校を促す。

・訪問支援

学校にほとんど通うことができず、家から出られない児童生徒等に対し、児童生徒の自宅を訪問し、学習支援、相談対応など、不登校による不利益が生じないような支援を行う。

・居場所支援

学校に通うことが出来るが、教室に入ることが難しい児童生徒が登校できる校内適応指導教室（スペシャルサポートルーム）の環境整備を行い、学びの場に定着できるように見守りを行う。

・学習姿勢向上

小1プロブレムなどが原因で、学習姿勢が身に着いていない小学校低学年の児童に対し、学習に向かえるように支援する。

(2)実施内容 ※変更点を太文字下線で表記

○サポーターの配置

	<u>区登校支援・見守り支援員</u> (旧：登校支援・見守りサポーター)	<u>区居場所支援員</u>	<u>区学習姿勢向上支援員</u> (旧：学習姿勢向上サポーター) <u>区低学年サポーター</u> (旧：学習姿勢向上ボランティア)
対象校	区内小中学校 (16校)	区内中学校1校	区内10小学校
主な対象者	家庭生活面などで課題を抱える児童生徒 (特に不登校の児童生徒)	<u>学校に通うことはできるが教室に入ることが難しい不登校の児童生徒</u>	小1プロブレムなどが原因で学習姿勢が身につけていない小学校低学年の児童
配置人数・配置時間	各小中学校に1名 (計16名) (1日7時間45分勤務 週5日)	<u>モデル校の1中学校に1名</u> <u>(1日7時間45分勤務 週5日)</u>	【支援員】 各小学校に1名 (計10名) (1日7時間45分勤務 週5日) 【サポーター】 各校年間1,050時間
資格	小学生又は中学生の指導や支援経験がある者 など	<u>小学生又は中学生の指導や支援経験がある者 など</u>	【支援員】 保育士又は幼稚園教諭の資格を有し、 <u>保育園等での勤務経験がある者</u> 【サポーター】 教員を目指す大学生等を想定
業務内容	・電話・家庭訪問などにより児童生徒の登校を促す登校支援 ・ <u>学校にほとんど通うことができず、家から出られない児童生徒に対し、児童生徒の自宅を訪問し、学習、進路指導、相談対応など、不登校による不利益を生じないような支援を行う訪問支援</u>	<u>学校に通うことはできるが教室に入ることが難しい児童生徒に別室など校内の居場所を確保し、学びの場に定着できるように見守りを行う校内適応指導教室(スペシャルサポートルーム)における支援</u>	小学校低学年の児童が学習に向かえるように支援する学習姿勢向上に向けた支援

○校内適応指導教室 (スペシャルサポートルーム) の環境整備

教室に入ることが難しい不登校児童生徒が安心して過ごすことができる居場所を学校内に設置。

区内全中学校で、生徒が周りを気にせず学習できる環境を整備するためのパーテーション等を購入。

※教育委員会事務局事業のモデル校に選定された中学校は、当該事業予算で実施。

教育委員会事務局事業「校内教育支援センター (スペシャルサポートルーム) のモデル設置」では、『不登校児童生徒や登校しても自分の教室に入りづらい児童生徒の社会的自立に向けた支援としてスペシャルサポートルームをモデル校 (24校) に設置し、支援員を各校1人配置』としています。

2. 外国につながる児童生徒の学習言語定着支援事業 重点施策推進経費

(令和6年度 予算額 9,934千円)

(1)事業概要

学習言語が定着しておらず、学力に課題がある帰国・来日等の児童生徒に対して、母国の学校では学習していない内容や、生活言語を習得するまでに授業を受けたため十分に理解できていない内容などの補充学習を行い、教科学習を通して日本語指導を行うことにより、教科等の学習に必要な言語の能力である学習言語の習得を促進し、学力向上につなげる。

(2)実施内容

対象者	区内の小学校4年生～中学校3年生のうち、 日本語指導教育センター校通級終了程度の生活言語を習得した児童生徒（定員 65 名）
申込方法	学校が受講者を推薦する。
科目	国語、算数、数学、理科、社会、英語の中から、 児童生徒の状況に応じて決定する。
授業料	無料
場所	大阪市立岸里小学校 大阪市立鶴見橋中学校
スケジュール	令和6年4月 契約締結、参加者募集 6～7月 授業開始

3. 学力分析に基づく演習を活用した苦手分野克服事業 重点施策推進経費

(令和6年度 予算額 7,533千円)

(1)事業概要

中学校の学力診断検査や高校入試の本番を想定した模擬テストを通じて、生徒の苦手分野を把握し、生徒にフィードバックすることで自身の課題を認識させるとともに、苦手分野の反復演習をすることで、個人の学力向上を図り、ひいては学校全体の学力の底上げを図る。

(2)実施内容

対象者	区内中学生（1～3年生）
科目	国語、数学、理科、社会、英語
受験料	無料
スケジュール	5～6月 中学校3年生 模擬テスト受験 7月 結果に基づいて復習・演習（学校の授業や宿題で実施） 10～12月 中学校1・2年生 模擬テスト受験 12～2月 結果に基づいて復習・演習（学校の授業や宿題で実施）

4. 発展型学習支援事業 重点施策推進経費 (令和6年度 予算額 16,293千円)

(1)事業概要

家庭の経済状況の如何に関わらず本人が志望する水準の高等学校への進学ができるように、成績中上位層を中心とした学習意欲のある生徒に対して、発展的な内容の学習機会を提供することによって更なる学力向上を図る。

(2)実施内容

対象者	区内の小学校5・6年生（定員140名）及び中学生（定員40名）
申込方法	児童生徒または保護者が事業者へ直接申込
科目	（小学生）国語、算数、英語 （中学生）国語、数学、英語 ※中学校3年生の長期休業中に理科・社会
時間数	（小学生）年間100時間 （中学校1・2年生）年間300時間 （中学校3年生）年間340時間（うち理科・社会が40時間）
授業料	無料
場所	（小学生）大阪市立岸里小学校、大阪市立千本小学校、大阪市立まつば小学校、 大阪市立長橋小学校、大阪市立南津守小学校、 西成区安心安全活動拠点あいステーション（いまみや小中一貫校敷地内） （中学生）大阪市立梅南中学校
スケジュール	令和6年4月 受託事業者と協定締結、参加者募集 4～5月 授業開始

5. 西成区基礎学力アップ事業(西成まなび塾)区長裁量予算(令和6年度 予算額 251千円)

(1)事業概要

区内の小学校5・6年生及び中学生に対し、小中学校校舎等の公共施設を活用した塾等事業者による課外授業（補習）を実施する。

(2)実施内容

対象者	区内の小学校5・6年生及び中学生
科目	（小学生）国語、算数（中学生）国語、数学、英語
授業料	月額1万円（塾代助成カード利用可）
場所	（小学生）北津守小学校、たちばな会館、玉出老人憩いの家 （中学生）鶴見橋中学校、たちばな会館、玉出老人憩いの家
スケジュール	令和6年4月 受託事業者と協定締結、参加者募集、授業開始

6. 基礎学力向上支援事業(西成ジャガピースクール) 区長裁量予算
 (令和6年度 予算額 8,332千円)

(1)事業概要

区内小学3・4年生に対し、夏休みや冬休み、平日の放課後を利用し、小学校で塾等の事業者による
 課外授業を実施する。

○令和6年度変更点

・ジャガピースクール体験会を授業や放課後の時間帯を活用して、小学校3年生全員に対して実施。

(2)実施内容

対象者	区内の小学校在学の3・4年生
日 時	3・4年生：年間45時間 うち、前期（6～8月）20時間（夏季休業中を中心に実施） 後期（9～2月）25時間（放課後の時間・冬休みを中心に実施） を基本に学校ごとに個別調整
科 目	国語、算数を重点的に実施 学校の希望に合わせて宿題サポートの実施
スケジュール	令和6年4月1日 受託事業者と契約締結 4月 学校と事業者の打ち合わせ 4～5月 ジャガピースクール体験会（3年生） 事業者による学校の授業見学 5～6月 参加者募集 6～9月 事業実施（前期） 9～2月 事業実施（後期）※後期からの参加も可能

7. プレーパーク事業 重点施策推進経費（令和6年度 予算額 17,142千円）

(1) 事業概要

魅力ある子育て環境を創出することで西成区に対する偏見やマイナスイメージを払拭し、西成特区構想でめざす子育て世代の誘引・定着への動機付けの一端を担う場となるべく子どもの生きる力を育む居場所であるプレーパークを実施する。

(2) 実施内容

○プレイス型（にしなりジャガピーパーク）

元来のプレーパークとしての「遊び場」だけでなく、こどもが課題を克服できる場として、学習支援を行う「学び場」、自己肯定感を高めることができる「たまり場」など3機能の形成を図り、それぞれの場が有機的に連携することで「生きる力」を育むこどもの居場所としてのプレーパーク事業を実施する。

開催日	土日祝日及び長期休み中の平日（計 54 日間）
開催時間	10 時～17 時（冬季は 10 時～16 時 30 分）
場 所	・もと松之宮小学校校庭（1 か月 2 回程度） ・もと今宮小学校運動場用地（1 か月 2 回程度） ・区内公園、その他適当な場所 など（開催回数制限なし）

○体験型（ジャガパーわくわくクラブ）

体験活動により子どもの好奇心を刺激し物事への興味や関心を広げ、ひいては学習意欲も引き出すことを目的として実施する。

開催日	土日祝日及び長期休み中の平日（計 18 日間）
開催時間	10 時～17 時（冬季は 10 時～16 時 30 分）
場 所	・西成区内小中学校体育館・運動場 （各学校 主に長期休業中に年に 1 回程度） ・西成区役所庁前広場・区民ロビー など（開催回数制限なし）

8. 西成区こどもの読書活動推進支援事業 校長経営戦略支援予算(区担当教育次長執行枠)

(令和6年度 予算額 390千円)

(1)事業概要

読書活動を行うきっかけづくりとして、年間の読了冊数に応じて賞状を贈呈する。なお、対象となる本は、学校図書館・西成図書館・移動図書館で貸出されているものとする。

(2)実施内容

対象者	区内小・中学生		
年 間	小学校1年・2年	100冊	小学校3年・4年 70冊
目 標	小学校5年・6年	50冊	中学校1年～3年 25冊
スケジュール	令和6年3～4月	読書カードを児童生徒へ配付(必要校のみ)・ふりかえりシートの送付	
	令和7年1月	集計依頼	
	2月	読書数集計	
	3月	目標達成者へ賞状授与・学校で区長表彰(希望校) (最多読書賞も学校訪問時に表彰)	

9. キャリア教育推進支援事業 校長経営戦略支援予算(区担当教育次長執行枠)

(令和6年度 予算額 261千円)

(1)事業概要

西成区内在学の中学生を対象に、様々な分野で活躍するゲストティーチャーとの交流や講義を通して、ゲストティーチャーがどのような進路を選択し、どのような方法でその職業に就いたのかを学ぶなど、児童生徒が具体的な進路や将来の職業について考える機会を提供する。この機会をきっかけに、児童生徒が自己の進路を決定し、その目標に向かって学習や運動に取り組むことにより、学力や体力の向上につなげることを目標とする。

(2)実施内容

令和6年度実施校	今宮中学校・成南中学校・玉出中学校	
スケジュール	令和6年3月	学校に希望団体等の希望調査
	令和6年4月～	実施に向けた調整
	6月～3月	事業実施

10. 大阪フィルハーモニー交響楽団出前授業事業 区まちづくり推進費

(令和6年度 予算額 1,400千円)

(1)事業概要

区内小中学校の児童・生徒にプロの演奏を鑑賞してもらい、大阪フィルハーモニー交響楽団を身近に感じてもらうことで、子どもたちの心に深く芸術文化に触れた記憶を残し、地域への愛着や誇りをはぐくみ、魅力ある地域へと変革させる人材育成につなげるとともに、将来の目標を見出していける人材育成をはかることを目的として実施。

(2)実施内容

対象者	区内小学生、中学生
実施校	2年間で各小中学校訪問 ○令和6年度実施校 今宮中・鶴見橋中・成南中 岸里小・千本小・長橋小・北津守小・新今宮小
場 所	各小中学校
内 容	各校の要望に合わせ、1～3コマ連続で実施

11. 帰国・来日等のこどものコミュニケーションサポート事業

校長経営戦略支援予算(区担当教育次長執行枠) (令和6年度 予算額 2,114千円)

(1)事業概要

帰国・来日等の児童生徒で、学校生活において日本の生活習慣等に支援が必要な児童生徒に対し支援を行う「帰国・来日等のこどものコミュニケーションサポーター」を区内小中学校に配置することにより、支援対象者の学校生活の支援及び周囲の児童生徒への理解促進を行う。

(2)実施内容

活動実績に応じて、サポーターに報償金（1時間あたり1,100円）を支給する。

○令和6年度変更点

- ・総配置時間を増（600時間⇒1500時間）1回の活動あたり1,500円を上限に交通費を支給
- ・必要となった際にサポーターを配置できるように、各学校への配置時間の配付方法を変更

12. 小・中学校サポーター登録事業（令和6年度 予算額 0千円）

(1)事業概要

各学校で活動していただけるサポーターの情報を西成区役所で募集・登録し、各学校へ紹介する。

13.西成しごと博物館について

(大阪府中小企業家同友会西成住之江支部南東ブロックと協働実施事業)

(1) 事業概要

西成区や近隣の子どもたちに、地元の企業の仕事内容を理解してもらうことで、働くことの大切さや面白さを感じてもらい、地元に誇りと愛着を持っていただくことを目的として区内の企業に出展していただき、仕事見学・体験を行う。

(2) 事業対象者

西成区や近隣の子どもたち

(3) 令和6年度の事業実施について

今後、来年度の実施内容について、区役所・大阪府中小企業家同友会西成住之江支部とで協議予定。